

3. どうやって勉強したらいいの？

受験勉強の方法に決まりはありません。特別な方法もありません。市販の問題集を利用する人、通信教育の教材を利用する人、塾に通う人・・・人それぞれです。唯一、共通して言えるのが、まず行動することです。そして、勉強方法があまり効率的でないと感じたならば、別の方法を試してみる！そうして徐々に自分オリジナルの勉強方法を見つけていくことが大切です。まずは、やらないことには、自分に合った方法を見つけることができません。ぜひ机に向かうところから始めてみましょう。ここでは、いくつかの方法をご紹介します。



◆その1「一冊入魂法」

「これ！」と決めた問題集や参考書を信じて、ひたすら解きまくる方法！最低3周などのノルマを決めて行うのが定番！特に数学などの理系教科の勉強に効果的です。問題レベルは、自分のレベルに合ったものから始めるのがポイントです！

◆その2「模試ノート作成法」

模擬試験や定期試験などで間違えた個所の問題をコピーして、ノート上部に貼付け、自分なりの解説を加えながら、自分だけの参考書を作る方法。日頃から模試ノートを手がけておくことで、入試直前の要点チェックなどに効果を発揮します。

◆その3「問題分野別学習法」

英語であれば「長文読解」国語であれば「文法問題」など、問題のジャンル別に学習内容を分けて行う方法。いつも点数を落としてしまう分野や、自分の弱点を分かっている人は、この方法が効率的で、比較的効果が現れやすい学習方法になります。

◆その4「カルガモ学習法」

カルガモの子どもが、親鳥の後ろを着いていくように、既存の学習計画に乗かって学習を進めていく方法。自分で計画を立てることが苦手な人や、誰かにナビゲートしてもらいたい人向け。個人的には、教科の先生方をお願いして、課題を出してもらったり、添削指導をお願いするのが良いと思います。

4. どれくらい勉強したらいいの？

1日2～3時間の人もいれば、1日10時間以上する人も居ます。また、学習の成果は直ぐに現れるものではありません。(最低3ヵ月がかかります。)ですから、受験日から逆算して、今の自分の学力と相談しながら、必要な学習時間の確保と計画づくりをする必要があります。ここで大事な公式をひとつご紹介します！

『学習成果』＝『学習効率』×『学習投下時間』

確かに、ごく一部の能力の高い人は、短い時間で圧倒的な成績をたたき出すことができます。しかし、ほとんどの人は、そんなことは出来ません。しかし、その能力差を埋めることが出来る唯一の武器が『時間』です。時間をかけてやることよって、どんなに優れた人に対しても立ち向かうことができます。入試本番までまだ時間はまだあります。いつからやるか？迷っている時間が一番勿体ない・・・。今すぐ行動に移そう！！

